



六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

第六十回 入学式式辞

校長 佐藤 光宏

満開の桜の花が咲き、春の息吹が満ちあふれるこの良き日に、入学式を迎えた府中第六中学校の百六十五名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございます。

本日は、公私ご多用の折にもかかわらず、多数のご来賓と保護者の皆様のご臨席を賜り、第六十回の記念すべき入学式が挙行できますことを、高い席からではありますが心より厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは今、担任の先生から名前を呼ばれ元気に返事をしました。その返事には、「府中第六中学校の生徒として頑張ります。」という約束と決意が込められていると思います。

皆さんがこれから過ごす中学生の時期は、人生において重要な時期になります。それは、中学生の時期は、心と体が飛躍的に成長するときであり多くのことを吸収できる時期であるからです。

今日から中学生になった皆さんには、少しの不安と満ちあふれる明るい希望があると思います。今日の新鮮なその気持ち、中学生になったら頑張ろうという気持ちを忘れず大切にしてください。

中学校は、学級の仲間とのかかわりが中心になりますが、他の学級や先輩など学級以外の仲間と関わる場面も増えます。各教科の授業、学校行事、部活動などで、これまで経験したことのないような人間関係づくりの機会がたくさん用意されています。楽しみにしててください。

次に、皆さんに身に付けるように努力してほしいことを三つ、お話ししたいと思います。

一つ目は、学習についてです。中学生として自ら学ぶ力を身に付けてほしいということです。中学校は、どの教科の授業においても、自分で解決する方法を考え、自分で実行し、そのことを他の人へ簡潔に説明することが求められます。自分で考え実行したことを人に伝えたり、多くの人の前で発表したりすることで、学習したことをより高度な形で身に付けることができます。また、家庭学習の習慣化や充実も大切なポイントとなります。

二つ目は、集団の一員としての自覚です。府中六中の大切なメンバーの一人であるという自覚をもった行動をすることです。望ましい集団は個人を大切にします。望ましい集団は一人ひとりが望ましい成長をする環境となります。ルールを大切に作る心、差別や偏見のない心、役割と責任を大切に作る心などを身に付けてほしいと思います。

三つ目は、命を大切に作る心です。命を大切に作る心とは、自分の命も他の人の命も大切に作る心です。人に対してやさしくし、「命」についてしっかり考える機会をもつことによって、自分を大切にし、他の人も大切に作る「心の力」が身に付いていきます。

中学校生活は、必ずしも楽しいことばかりではないかもしれません。ときには困難が皆さんの前に立ちふさがりかねません。その時に必要なのは前向きな心です。皆さんが明るい気持ちと希望さえ持ち続けていれば、どんな困難も乗り越えることができます。そのことを忘れないでください。そして、困難を乗り越えるために、皆さんの周りでは、友だち、先輩、先生、家族が大きな力になってくれます。そして、困難や失敗を乗り越えた時、一回り成長した自分と出会えるはずです。

皆さんが入学した府中第六中学校は、これまでに多くの諸先輩を輩出し、輝かしい伝統が築かれています。これを受け継ぎ、先生方のご指導の下、上級生に学び、同級生と切磋琢磨し、明るく豊かな学校生活を築いてください。

結びとなりますが、保護者の皆様、私ども、教職員一同、生徒の健やかな成長を期して、全力で学校教育の充実に取り組んでまいります。どうか、ご家庭や地域におかれましても、より一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。